

# 第70回中小企業団体全国大会

『明治150年 歴史と文化、地域を支える中小企業が未来を拓く』



京都府中央会会长 渡邊隆夫 氏

全国中央会会长 大村功作 氏

## 大会決議16項目

- I. 経済の好循環を実感できる中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化
  - 1. 中小企業・小規模事業者対策の加速化
  - 2. 生産性向上・経営力強化に対する支援の拡充
  - 3. 事業承継・後継者育成への支援の拡充
  - 4. 中小企業組合・中央会等に対する支援の拡充
- II. 地域活性化を担う中小企業・小規模事業者に対する支援の拡充
  - 1. 官公需対策の強力な推進
  - 2. 海外展開に対する支援の拡充
  - 3. まちづくりの推進、中心市街地の再生支援
- III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充
  - 1. 震災・豪雨災害に対する復旧・復興の更なる推進
  - 2. 福島の復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施
  - 3. 地域の防災・減災対策の強化と国土強靭化の推進
- IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備
  - 1. 中小企業金融施策の拡充
  - 2. 中小企業・組合税制の拡充
  - 3. 中小製造業等の持続的発展の推進
  - 4. 卸売・小売業、サービス業、流通・物流業に対する支援の拡充
  - 5. 中小企業の実態に応じた独禁法の執行
  - 6. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保障対策の推進

全国中小企業団体中央会、京都府中小企業団体中央会は、9月12日、京都府京都市・上七軒歌舞練場及び西陣織会館において、第70回中小企業団体全国大会を開催した。

当日は、京都府知事・西脇隆俊氏、京都市長・門川大作氏のほか、経済産業省、厚生労働省等の関係各機関より多数の来賓が臨席し、

大会では、京都府中央会会长・渡邊隆夫氏を議長に、生産性向上・経営力強化に対する支援の拡充や、震災・豪雨災害に対する復旧・復興の更なる推進等、国への要望16項目を決議し、満場一致で採択した。

全国から中小企業団体の代表者約1,900名（本県からは34名）が出席した。

全国中小企業団体中央会、京都府中小企業団体中央会は、9月12日、京都府京都市・上七軒歌舞練

大会では、京都府中央会会长・渡邊隆夫氏を議長に、生産性向上・経営力強化に対する支援の拡充や、震災・豪雨災害に対する復旧・復興の更なる推進等、国への要望16項目を決議し、満場一致で採択した。

全国から中小企業団体の代表者約1,900名（本県からは34名）が出席した。

続いて表彰式が行われ、優良組合39組合、組合功労者73名、中央会優秀専従者21名が受賞の栄に浴した。本県からは、優良組合として群馬県菓子工業組合（理事長・高野博道氏）、組合功労者として前橋中心商店街協同組合理事長・植木修氏がそれぞれ受賞した。



組合功労者  
植木 修氏  
(前橋中心商店街協同組合 理事長)



優良組合  
群馬県菓子工業組合  
(理事長 高野博道氏)



鹿児島県中央会へ大会旗を継承



懇親会の様子(鴨川納涼床)



南禅寺にて抹茶を楽しむ参加者

次期全国大会については、平成31年11月7日(木)に、鹿児島県において開催することが発表され、大会旗が全国中央会大村会長から鹿児島県中小企業団体中央会会長・小正芳史氏へ手渡された。

最後に、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長・高田坦史氏の音頭による万歳三唱で閉会となつた。

本会では、全国大会に併せ、中央会コースを設定した。

9月12日の全国大会終了後、夕刻より懇親会を開催し、京都の風物詩である「鴨川納涼床」を満喫した。翌13日には、京都を代表する観光名所である金閣寺のほか、特別公開中で、今の時期にしか見ることのできない大雲院祇園閣、京都屈指の格式を誇る南禅寺を訪問。南禅寺では庭園を眺めながら抹茶を楽しんだほか、昼食では南禅寺門前の茶屋料理として生まれた名物「湯豆腐料理」を堪能した。



金閣寺をバックに中央会コース参加者で記念撮影



## 若手社員リフレッシュ研修



9月4日・5日の両日、前橋市・前橋商工会議所会館において、若手社員リフレッシュ研修を開催した。

本研修は、今後の成長が期待される若手社員を対象に、社会人としての自覚の喚起と、第一線で活躍できる能力を身に付けることを目的として毎年開催している。

今回は、県内企業34社より4日に36名、5日に29名の計65名が参加し、経営教育「コンサルタントの雨宮利春氏」を講師に迎え、研修を行った。



雨宮利春 氏

研修では、「指示待ち人間」から「自律型人材」への意識改革を図ることを中心に、「組織人」としての役割、仕事を主体的かつ効率的に行うノウハウ、日頃見落としがちなマナー、良好な人間関係を構築する秘訣など、若手社員がスキ

ルアップを図っていく上で、基本的かつ重要な内容について説明及び実習が行われた。

雨宮氏は、グループワークやロールプレイを織り交ぜた研修の中で、社会人として必要な素養について軽妙な語り口で説明。

参加した若手社員からは、「雨宮先生の話が分かりやすく、良く理解できた」、「身だしなみや挨拶、言葉遣いから見直していきたいと感じた」、「仕事に生かせる内容ばかりで、とても参考になった」といった意見が寄せられた。

研修終了後には、本会小林雄二郎専務理事より、参加者全員に受講修了証書を手渡した。



修了証書授与式の様子